

令和8年度「コミュニティ助成事業」 活用団体を募集します！

一般財団法人自治総合センターでは、「宝くじの社会貢献広報事業」として、町内会や自主防災組織などが行う活動に必要な備品の整備などを助成しています。申請を希望される団体は、**9月16日(火)**までに、町まちづくり課までお申し込みください。事業の詳細は、QRコードから自治総合センターホームページをご覧ください。

☎・📍 町まちづくり課 (☎852・5361)



令和7年度は高千部落会が活用



高千部落会が当事業を活用し、会の活動に必要な発電機や除雪機などを整備しました。

町職員採用試験を行います(一般行政／社会人経験者)

▶受験資格

以下の①～③を同時に満たす方

- ①昭和55年4月2日から平成13年4月1日に生まれた方
- ②学校教育法による高等学校以上の学校を卒業した方
- ③民間企業などにおける職務経験を平成30年2月1日から令和7年4月1日までの間に3年以上有する方

- ▶給 与 ●高校卒初任給 189,334円～／月
- 大学卒初任給 221,562円～／月

▶一次試験日時・会場

- 10月19日(日) 午前9時から受付開始
- 県市町村会館 (秋田市)

▶受験申込の受付期間

9月3日(火)～24日(水)

※詳細は、QRコードから町ホームページをご覧ください。

☎・📍 町総務課 (☎852・5332)



町会計年度任用職員を募集します

☎・📍 町総務課 (☎852・5332)

学習支援員(学校ICT支援員) …………… 1名

- ▶業務内容 情報通信技術支援 (ICT支援員)
- ▶任用期間 10月1日～翌年3月31日
- ▶勤務時間 午前8時20分～午後4時50分のうち7時間 (休憩1時間除く) 35時間／週
- ▶報酬(給料) 1,139円／時間
※優遇する資格保有者は1,342円／時間
- ▶必要な技術・資格
普通自動車運転免許、パソコン操作など
※小学校または中学校の教員免許状保有者を優遇

生活支援員(放課後)《補助》…………… 1名

- ▶業務内容 小学校児童の放課後保育の補助
- ▶任用期間 10月1日～翌年3月31日
- ▶勤務時間 学校教育課長が別途指示する日で1日につき5時間以内 15時間／週
- ▶報酬(給料) 976円／時間
※優遇する資格保有者は1,139円／時間
- ▶必要な技術・資格 不要
※放課後児童支援員認定資格研修終了証保有者を優遇
- 担当課 町教育委員会学校教育課 (☎852・5372)

◇申込方法 町総務課で募集要項と所定の応募書式の提供を受け、必要事項を記入の上、9月11日(木)までに総務課へ書類を提出してください。

◇選考方法 9月19日(金)頃に面接試験を実施し採用の可否を決定します(面接日程は別途通知します)。

五城目町シルバー人材センターでは お 仕 事 承 り ま す

主な
仕事内容

大工・左官関連、襖・障子張り、草取り、草刈、薬剤散布、樹木の剪定、立木伐採、水田作業、畑作業、ハチの巣駆除、廃棄物運搬処理、清掃・片付け、冬囲い、除排雪、宛名書き、賞状書き、チラシ配布、買い物代行、病院付添い、他 要相談

☎ 一般社団法人 五城目町シルバー人材センター

〒018-1725 五城目町西磯ノ目一丁目6-10
(五城目町保健介護支援センター2階)
☎853・8701



ふるさとを想う

小学校時代の思い出

工藤 永悦
(浅見内出身)



家から200メートル位のところを、内川が流れていました。川岸にある1本の木にカブトムシがたくさん集まっていたので、よく見に行きました。川幅はあまり広くありませんでしたが、よく釣りや水遊びを楽しみました。イワナもいたと思いますが、釣った記憶はありません。

山にはほとんど入りませんでした。漆うるしによくかぶれました。後になって、漆は周囲にガスを発散しているの、木に触れなくてもかぶれることがあると聞き、驚いたものです。

夏祭りや運動会には、たくさんの方が集まりました。我々の3年から6年上の人、第一次ベビーブームの世代で、元気な人が多い感じがします。運動会の朝は生卵1個飲んで出かけました。

能代に住んで45年。浅見内には時々帰っています。車で、森岳経由で行く

ことも多く、冬以外はドライブコースのようです。バイク乗りや最近では丸太を積んだトラックもよく見かけます。当時は、苗木を植えるために山の土地を整備する「地ごしらえ」の仕事に行くお母さんたちも結構いたようです。山本郡と南秋田郡の境界あたりは、当時まだ車は通れませんでした。近くの山に鍋つこ遠足に行きました。郡の境を下れば、船を逆さにしたような形の湯ノ越山が見えてきます。ここまできると、まもなく実家です。母親が一人で住んで、小さな畑で野菜を真剣に育てています。私はその畑を動物から守るため、網を張っていますが、動物の方が一枚も二枚も上手のようです。秋にはコハゼとりを楽しみにしています。

ごじょうめの 文芸



「短歌」

八月は黙禱の月
原爆と敗戦とそして人の死のこと
下樋口 小熊 正明

山百合のしるき香りに気が付きぬ
庭の斜面の二本・三本
八郎潟町 畑澤 英子

楽しみの庭の梅の木実がいっぱい
香りふくらみ今が食べごろ
岡本 二方 征捷

「俳句」

水兵さん似合ひし父の盆供養
八郎潟町 北嶋美保子

早田ハヤタに水分け入れる仲間いて
上高崎 三浦テツ子

小鳥来てまめで居たかと枝ゆらし
八田 伊藤 豊子

「川柳」

知らぬ間にカフェラメンの店だらけ
秋田市 加藤 春弦

金貯めて使い切れぬと言いたいな
台 伊藤 均

神様がいつも味方と限らない
東磯ノ目 菊地 風月

水害の記憶が箸をころがせる
矢場崎 鈴木さくら